

整理番号	42-19	事務事業名	奨学金支給事業		作成部署	教育委員会 管理部管理課	電話	内線887
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	鈴木 正広	課長職名	青山 章二	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	昭和53年	根拠法令等	北広島市奨学金支給条例・同規則					
" 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	経済的な理由によって就学が困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、教育を受ける機会を与えることを目的とする。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化を育むまち	(第4章)
	節	学校教育	(第2節)
	施策	高等学校教育等の振興	(第7施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市立中学校を卒業し、学費の支弁が困難な高等学校、高等専門学校等の就学者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	高等学校、高等専門学校に進学し、経済的な理由によって就学困難な学生及び生徒に教育を受ける機会を提供する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	毎年度成績証明と収入証明を添付した申請を受け、予算の範囲内において奨学生選考委員会において奨学生を選考した。選考された奨学生に対し、月額5,000円(年間60,000円)を支給。(資金は、奨学基金の運用益及び一部とりくずしを充当)
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	3,805	3,780	3,900	4,200
	一般財源				
	合計	3,805	3,780	3,900	4,200
人件費(概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +		4,705	4,680	4,800	5,100

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	奨学金申請者数	94人	81人	87人	87人
	奨学金支給人数	65人	65人	65人	65人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	奨学金支給率 (支給人数 ÷ 申請者数)	69%	80%	75%	75%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	受益者1人当たりのコスト (総事業費 ÷ 支給人数)	72,385円	92,000円	73,846円	73,846円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	経済の低迷により、この事業の必要性が高まっている。能力があるにもかかわらず、経済的に就学が困難な生徒や学生にとって就学の一助となっており、世帯の負担が軽減されている。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	経済的に就学が困難な学生、生徒に対する援助であり、行政関与は妥当であると考え。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	経済情勢から対象者が増加傾向にあり、必要性は高い。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	成績証明や収入証明に基づき、奨学生選考委員会が厳正に審査したうえで奨学生を決定しているため、公平性が図られており、妥当であると考え。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	申請者の80%(平成16年度)に奨学金を支給しており、概ね成果が上がっているものと考え。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	奨学基金を原資とした限られた予算の中で、有効かつ公平に事業を実施するためには、奨学生選考委員会による奨学生の選考は効率的であると考え。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	経済情勢から対象者が増加傾向にあり、今後も継続が必要と思われる。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	昨今の厳しい社会経済情勢に対応して、年度途中で経済的理由から就学が困難となった生徒についても奨学金を支給できるよう、対象範囲の拡大を検討していく。